平成　23　年度

事務事業マネジメントシート

作成日　平成　23　年　7　月　25　日作成

事務事業名	25150	認可外保育所衛生安全対策補助事業	施策評価項目名	児童福祉の充実	
政策名	総合計画体系 02	豊かで生き活き安心・安全なまちづくり	所属部	環境福祉部	所属課　子育て支援課
施策名	02	福祉の充実	所属係	児童保育	課長名　梶本光男
基本事業名	04	児童福祉の充実			電話番号　0883-72-7648 （内線）　305
予算科目	会計 1　款 3　項 2　目 1	保育所費	法令根拠	児童福祉法	
事業期間	☐ 単年度のみ　☑ 単年度繰返 ↳（ 開始年度　平成18 年度 ～ ）　☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳（　年度 ～　年度 ）				

事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

＜事業の内容＞
・認可外保育施設の入所児童の健康診断・歯科健診を実施する。
・認可外保育施設の保育従事者及び調理担当職員に対する健康診断を実施する。
＜業務の内容＞
・県へ補助金申請。
・認可外保育施設から補助金申請を受付け。事業終了後、実績報告を提出してもらう。
・審査後、補助金交付決定通知書を送付し、補助金を支出。
＜事業費内訳＞
・補助金（180千円）

全体計画（期間限定複数年度のみ）　（単位；千円）

総投入量			
事業費	財源内訳	国庫支出金	
		都道府県支出金	
		地方債	
		その他	
		一般財源	
		事業費計（A）	0
人件費		正規職員従事人数	
		延べ業務時間	
		人件費計（B）	0
トータルコスト(A)＋(B)			0

1　現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

22年度実績（22年度に行った主な活動）
事業概要と同様。

23年度計画（23年度に計画している主な活動）
事業概要と同様。

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等
・認可外保育施設入所児童
・認可外保育施設保育従事者

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）
・認可外保育施設入所児童及び保育従事者に対する健康支援を行う。

④ 結果（どんな結果に結び付けるのか）
・安心して子育てができるようになる。

⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	認可外保育所数	箇所
イ		
ウ		

⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	認可外保育施設入所児童数	人
イ	認可外保育施設職員数	人
ウ		

⑦ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	受診した児童数	人
イ	受診した職員数	人
ウ		

⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	子育てに不安を持っている保護者の割合	%
イ		
ウ		

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（実績）	23年度（見込）	24年度（成行予測）	25年度（成行予測）	26 年度（成行予測）
投入量 事業費 財源内訳	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	114	114	129	129	129	129	129
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	57	64	51	51	51	51	51
	事業費計（A）	千円	171	178	180	180	180	180	180
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10	10
	人件費計（B）	千円	38	38	38	38	38	38	38
トータルコスト(A)＋(B)		千円	209	216	218	218	218	218	218
活動指標	ア	箇所	1	1	1	1	1	1	1
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	19	12	11	11	11	11	11
	イ	人	8	7	7	7	7	7	7
	ウ								
成果指標	ア	人	24	16	11	11	11	11	11
	イ	人	8	7	7	7	7	7	7
	ウ								
上位成果指標	ア	%	50.79	45.28	44.28	37.00	36.26	36.26	36.26
	イ								
	ウ								

事務事業名	認可外保育所衛生安全対策補助事業	所属部	環境福祉部	所属課	子育て支援課

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

「徳島はぐくみ統合補助金」制度により、補助金を認可外保育施設に交付することとなった。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

少子化等により、認可外保育施設に入所する児童が減少してきた。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

2　評価の部（SEE）＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市（町）の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 結びついている ⇒【理由】 健康診断の費用を補助をすることによって、健康診断を受診し、認可外保育施設の適切な運営と児童の安全確保に努めている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市（町）が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 妥当である ⇒【理由】 県から補助金が出ている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 適切である ⇒【理由】 県の補助要綱に「認可外保育施設」となっている。
有効性評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 向上余地がない ⇒【理由】 県の補助事業を基本にしている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 影響有 ⇒【その内容】 認可外保育施設の負担が増える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには，この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある （具体的な手段，事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 県の補助要綱に「認可外保育施設」と限定されている。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 県の補助要綱に費用負担割合が規定されている。
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金申請等の事務となっており、最低限の時間で行っている。 また、他の事業と合わせての県への補助金申請となっているため、委託はできない。
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 県の補助要綱に「認可外保育施設」となっているので、妥当である。

事務事業名	認可外保育所衛生安全対策補助事業	所属部	環境福祉部	所属課	子育て支援課

3　評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）（PLAN）

(1) 1次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
② 有効性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
③ 効率性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
④ 公平性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括（振り返り、反省点）

認可外保育施設の入所児童等が安全に保育されるために必要な事業である。

(3) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止　☐ 休止　☐ 目的再設定　☐ 事業統廃合・連携　☐ 事業のやり方改善（有効性改善）
☐ 事業のやり方改善（効率性改善）　☐ 事業のやり方改善（公平性改善）
☑ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(4) 改革・改善による期待成果
（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(5) 改革，改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策